



門示加2  
稱 554  
卷 1

義門大德著

奈不萬之大奈

聖華書房藏

友

聖華書房藏

義門大德著

聖華書房藏

叔姪至意動余志何之學友

也其并義門子亦相繼為及中第

厚之欽子初好困書善困能也

博者款之學以者教甚曰奈万之

亭

奈者攻 社典大なる其疎生

社典之中字者 旋何名問者 旋

心加之在止如信心二字上者之

下者之公居在在 別之或和和 旋

旋之在在 旋之在在 旋之在在

立去研尋道年之 況以出之

侮破に瞭然 旋理の 微而多性

而不達之 系實是 旋の 盡也

や初七の 孝末に 人出未之 而

千軍之 汝若人 不の 若の 旋節

年嘗之於於余。不既盡之。其  
沈子有兄弟。相後。之。恒守之。可也。  
筆。於此。事。孰。當。其。在。東。西。  
荏苒。不。果。以。至。之。如。此。困。死。  
之首。

可保成成夏後於古負諸師  
素

空齋大舍





上卷目錄

- 初丁 信心等諸字韻尾 (シ) (ム) 差別アル所以ノ大意
- 二丁
- 三丁
- 四丁 (シ) 反鼻声古クヨリ無クシモアラジ議論
- 五丁 (ム) 別一其取匠キ舊說凡又正字通ナル因字ノ事
- 六丁 (シ) (ム) ノ正クワカル、韻書ノ大旨
- 七丁 (シ) (ム) ラ分ニ要略ノ圖並説
- 八丁
- 九丁 (シ) (ム) ノケヂメニユル古書凡ノ明証
- 十丁
- 十一丁
- 十二丁 古書文字用法ト異邦ノ韻鏡式ト符合ノ妙
- 十三丁
- 十四丁 韻鏡開轉合轉ニテ (シ) (ム) 別ル反ハ非ナル辨

Vertical columns of faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

十五 〇ムノ辨別大ニ万葉歌學ニカ、ハル義

十五 〇シ 〇チ 〇フニ 〇ホ 〇ヒ 〇フ 〇タテ 〇チ 〇ト 〇ツ 〇キ 〇カ 〇ケ 〇ク 〇キ 准知ノ事

十六 〇執苑日涉ナル説

十七 〇漢吳音圖説ノ説

十八十九 〇シハカニぬねのムハまみむめもトナル理義

廿二 〇諸國郡郷等地名ノ字ニテシムノ別ラ慥ニスル事

廿三 〇シノカニぬねのニ轉ズル古語的證

廿四廿五 〇字音ヲナダラメタル言モシハカニぬね乃ノ音ニ局

ル證

廿六廿七 〇地名ニ付テムハまみむめもニ局ル反証

廿八 〇字音ヲナダラメタル語ドモモムハまみむめもニ局

レル証

廿九卅 〇らりろせろニ轉ルハシニシテムニ非ル証

卅一 〇加行音ノ濁レルニ當ルハシニ局ルコト

卅二卅三 〇リニ轉ジ又イニナルモシニ局ル事

卅四卅五 〇波行音ノ濁レルニ轉ズルハムニ局ル事

〇臻山攝ノ字ハ其レドチ深咸攝ノハ亦ソレドチトツ

カチ用タル古書ノ例證

中卷目錄

二初丁

①② 差別無ルヘシハシ妨難ルヲ遮スル問答ノ中ニ

日本紀ノ因高イモ日本後紀ノ旻樂ミヨ最難關ナルカ解釋

四二五

寒蛸カムセシ止散トサ文フミ頓ト正身サリシ丁傘ハシ浪速ナニ等通妨

六七八

③ノ通シ互ルヲミルニ奈行羅行ハ親キサテナレバ

麻行ト奈行トハ殊ニ睦ク通セズヤ問答

今

むトかトむらびてひるむらびノ同別びてかへる類

九十一  
十一十二  
十三十四

神号ノあみニマテタル冊字ノ議定

十四

員ヲみ系トセル類ヒノフドモ

十五十六

監ハモシケシニテ蟬ハモシセムナランカ然ラハシ

④ 相濫スルニ非ズヤ問答

十六十七

蘭ヲらむトスルモ誤ニハアラヌニ非ズヤ問答

十七十八

文屋ヲふむトカケル不審

十八十九

うト轉スルハシヨリニモムヨリニモ局ラザレトモ

うヨリ轉スルハシニ局ル欵ノサダ

十九二十

草菴集茶盆三衣匿哥並蘭ヲ語辞らんニ用フ誤ツカノ

廿廿一  
廿廿二

無牟ト書ルモシト呼テムト隨ニハ呼テシキアル事

下卷目錄

初三四  
五六七八

トムト別テ其諸字ヲ出ス凡例

唯ヲ井翁ヲラウ陰ヲお<sup>2</sup>ト意得ル類ハ誤リナル

アム アム イム ウム エム エム

オム カム クム ケム コム 附再出字ノ由

訓經磬ノ類モ附入

クム ケム ケム コム

權ニ(ゴ)ノ音ナキニ非ル考證

サム 附シヤム シン シム シユン シユム 附再出字ノ由又

スム セム ソム タム

チム チム ツム テム 又附再出ノ由

トム ナム ニム 子ム

ノムノ音有無ノ議メ

ハム ヒム フム ヘム

ホム テム ミム

ムム ハナケレドムニハ無ニシモ非ル事

尹字ナトハイシ井シ兩音ト意得ヘキ義

メム モム ヤム イム

イム 閔ニビンナドシムヲ附別ケタルコ遊ノ册

十六  
十七

十四  
十五

十四

十三  
十二

十一

十

九

八

七



廿五  
六

エシ エム ラシ ラム リシ リム レシ レム ロシ ロム

廿七

ワシ ワム 井シ 井ム ウシ ウム エシ エム ラシ ラム

廿八

カヘリ花ノ變ノタトヘ

廿九

深成攝(ム)ヲ 臻山攝(シ)ヲノ大要

三十

韻鏡ヲ駁セル解經秘藏ノヒガ言

卅一

梵音ニ遡テ(シ)ムノ別ヲ審ニスル圖說

卅六至

一雲阿闍梨ノ評議

卅七

曰はイんハ思はハんハらハんハナドハ通シ書ベキ義

余萬之奈上卷

余萬之奈ト云ル上野國利根郡ナル郷名ニ填アタ

ル文字和名鈔ニ男信ト書ルニ就テヒト年トセ京

一云高倉學寮ニ參リ居テ物ノ序ニアル學匠ニ

對テ此男ノ字ヲ奈那トアラシ言ニモアテ信ハフ

之乃ニ填テモ用フヘクヤサテ又是等ノ文字ニ

其音ノ假名附ムニスヘテ其字ノ讀キノカナ

(ナシ) (シシ) トモ (ナム) (シム) 凡通シ用ヒテ宣ルヘシ

ヤ本宗ノ諸書ノ中ニ信心ノ二字ノ假名毒ニ毒

モ信ニハ(シ)心ニハ(シ)ト有テ之ガ互ヒニ混  
 セル無クソノ餘スヘテ安ハ(ア)闇ハ(ア)因ハ  
 (イ)音ハ(イ)延ハ(エ)炎ハ(エ)恩ハ(オ)音ハ  
 (オ)アルナド阿行ニツイテ云ニ是ノ如シ次々ノ  
(カ) (カ) (サ) (サ) 等准ヘ考フヘシ 斯  
 ク同レ撥スル韻ノ字ゴトニ母モ(ン)トセルト(ム)  
 トセハト其定アリト覺キハ其所以ヤ侍ルト問  
 示セラレケルヤウサレハヨ凡ソ萬葉  
 集等ノ正キ古書ビラミルニ世ニイハユル撥ル  
 韻ノ又字用エ和語ニアテ、借り用ヒタルヤウ

まみむめノ言一填テタルトなにぬねのノ音  
 ニ用ヒタルトキハヤカニ分レタリ其古ヘカニ  
 ぬねのノ音ニカレル韻ノ字用ハ(ア) (カ) (サ)  
 (タ) (ナ) ナド假名附ベキ字也又まみむめもニ  
 用ヘル限リハ(ハ) (テ) (ラ) トヤウニ附クル字  
 用ト相分レタルゾト有キ此誨ヲ諾ヒ置サテ後  
 書ヨム母ニ意ヲウケツ、年月ニ考ヘツレハ頑  
 魯ナガラニ漸ク明メラレタリサテ國學ニ名タ  
 タル本居氏ノ地名字音轉用例ト云ル書ヲ看シ

ニ上ノ件リノ如キ意シラヒシテ著ハセルナフ  
 子レコレゾコノ<sup>シ</sup>ト<sup>ム</sup>トノ差別ヲ古書氏ニツ  
 イハ考ヘ定ムヘキヨキカタウド書ニハ有ケル  
 但レサバカリノ書著セル人ナレド意ヲコ、ニ  
 用ニザリケレバニヤ、ソノ同作タル字音假字用  
 格<sup>五十一</sup>ニ<sup>四丁</sup>韻<sup>び</sup>之假字ト標シテ或説ニ「開口音ノ字  
 ニハ人ヲカキ合口音ノ字ニハ<sup>ハ</sup>む<sup>ウ</sup>カクヘ<sup>レ</sup>ト  
 云ルヲ妄説也ト彈シテ<sup>ソ</sup>ノ差別アルヘキ由ナ  
 シ韻ノ假字ニハ<sup>ハ</sup>む<sup>人</sup>通用スヘ<sup>レ</sup>ト斷セルハ亦

妄リナリカシ。但シ之ヲ助テ<sup>シ</sup>ト形スル字ノナカリ  
 クモ書キ別キ難カリケン世ニハ之ヲイカバハセシ其トモカ  
 ルナラズトイヒ又<sup>シ</sup>ト鼻ニ觸ル、音ハモト御國ニハ無キ  
 一ト云フコノ本居ノ辨論乃チソノ又著ハシタル漢字三音  
 考ナトニ委ラナレハ<sup>シ</sup>ト<sup>ハ</sup>ノ假名ノ無リシハ勿論モト御國  
 人ノ音声ニ見ハレ又鼻音ノ文字ノアルヘキ理ナキヤト  
 ヤウニ云人モアラシキソハ何レモ一概ナル論ニテ立回レ  
 其鼻觸ノ音ハフツニ無シト云ルハウルハシキ言ノ葉謠フ  
 ベキモノナドニハゲニ無リケメド物ノ音響ヲ寫サントス  
 ルニ所謂鼻觸ノ<sup>シ</sup>ナカルヘカラズ又古也トモ言ノイヒ連  
 キニヨリテハサスガニ<sup>シ</sup>ニ<sup>シ</sup>近キ音声人語ニモ必シモナカ  
 ルベキニアラス况ヤ字音ハモトカラ轉リテ寫セルナルヲ  
 其カラ人ノ真ノ口呼ヲウチ聞クニ<sup>シ</sup>ト<sup>ハ</sup>ノ音ノサダカナルヲ  
 願クハ其サダカニ写シトラニテ欲セザルヘケンヤ其摸シ  
 摸ラテ欲シカラニハ<sup>シ</sup>ト<sup>ハ</sup>ノ形セル今世ノ如キ假名モ  
 ノ無リシナラハ聊ニテモ似ヨレルヲト思ヒタシサルヘケ  
 ンヤ譬ヘハ日本ノ薩州ノ如キソノ迫ル音ノ假名文

字ナケレハ然イハレヒ韻尾ノアルニヨリテハ且クハト書  
 二傳ル如ク①モサル字形ノナカリケンラリハ聊ニテモソ  
 レラウツスニハコレヨシト思ハル、字シテゾ書キケン奥  
 ニイハンカノ万葉和名ナトニ馬ラ牟麻ト書ルナドラモ思  
 へレ是ラハ近來カノ鱧ヲむなぎトイヘル類ト意得テ只  
 二通ハシテハ呼シテノヤウニ云ル説アレドソハ失考ナ  
 ルゾサテ彼カラ人ノ真ノ口呼ニテハ入声ノ韻ハスベテ唯  
 迫レルノミナメレト其韻ヲハ御國ニテ聞取ルニハ自ラニ  
 其喉舌唇ニフル、淺深ノ分レニテ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺  
 ル、ガ如ク彼カラ人ノ鼻ニカ、レハ韻ヲ聞ウツスモ自ラ  
 かぬねのニ親キトまみむめもニ親キトヨクキ、分ケ  
 ケルコソ御國ノ自然ナル雅ビケレサレハ渠ガ真ノ口呼  
 ヲキケル下、ニ或ハかぬねの或ハまみむめもト便ニ隨  
 ヒテ書分ヘキハ自ラナル理リ然ラズハアルヘカラス抑  
 ①ノ形字ハナク氏上ニイヘル如ク雅正ナル強固言ト扱シ  
 ルニ非ル音便ノ論リハ古キ代ヨリモ々々ガツアリタルベ  
 キヲ漸々ニソノ鼻音ノ多クナリツヒニハ②ノ形シテ正  
 一キ五十音ノ外ニ一ノカナ文字サヘイテ來ニタル世ヨリ

カシテ此ハ後ニ出キタル文字ナレハコノ音ハ上古ハタエ  
 テナカリシ者トイハシハ夕トヘハ近漢字三音考ニ漢土ノ  
 人ノ真ノ口呼スル入声ノ如ク迫促スル音ヲアラハス爲ト  
 テ⑤ヲ新製セルラ後モシ廣ク用ルコトニナリニタラシ  
 ニコノ⑥ノカナノナカリシ代ニハ保ハ音ハタエテナカリ  
 シ者トイヒテ日本薩州ナトニ智幸ノ如チラサ  
 ダカニイヒシモノゾト云ニガ如シ⑦ト書キ形ハスハ三音  
 考者ノ新作ナレトソレニアタルツテハ音日本ノ以薩州ノ  
 さノ類ハ古クヨリ人口ニアルニハ非スヤサレハ觀津法兄  
 ノコ、ヲ論シテソモ人爲ノ字形ノ未ダアラザレハトテ天  
 然ノ音韻モ無リシ也トイヘルハウケラレズトイヒカノ凡  
 音者生人心者也情動於中故形於声々成文謂音トカイヒケ  
 ン理リハ御國ニ在リトテ然ニストイフベシヤハ又⑧ハイ  
 ツクニテモ正キ人語トハ云難クコレヲ書キ形ハセルモ正  
 ク文字トハ云ヘカラサルガ故ニ点画ナドイヒ漢字モ別ニ  
 コレナクテ通雅ニ声氣不壞風力自轉五音皆官五行皆土臍  
 鼻折撰爲⑨ナドイヘラシサテニゾカラ人モコ、ロエラ  
 メル⑩ノ正字ハ漢土ニモナケレハ御國ニテ⑪ノ形定リテ

後モ此ハ只点画ト名クヘク字トハイフテシキトイヘ  
 ルモウヘナル論也カノ悉曇大座ニ空点ノヲハ不可必  
 有音トイヘリケント合セ考フヘシ但シ今ノ世(シ)トカク  
 カサダカナルニ隨ヒテハコレラハ片假名ノ(シ)平カナノ(シ)  
 ト云モ強チニ惡シトモ云ガタキカカクテ思フニ(シ)ト形  
 スル假名ノナカリケニ世ニハ男ヲ(ナ)信ヲ(シ)トワキワ  
 キシク假名付ルヤウノノノ自在ナラヌハ飽又ノナガラ男  
 ノ字ノヒツキト信ノ字ノ韻キトハオノツカラ混ステシキ  
 差ナトハ昔ハ却テソノ漢字ドモラ呼フ声モソノ呼ブ声  
 チキク耳モ天然ニヨクワカレテゾアリケンサルハソノ古  
 書氏ニおぬねのニカレルハコレノ字ドモノ尾声まみむ  
 めもニ借レルハソレノ字尾ノ尾声ト岐レテコレハ混シ  
 用ヒタルノナキニハアルベケレ但シ(シ)ノ字トタ(ツ)ノカ  
 ナノハ世ノ人種々ノ説ラナセトモ多ハ摸索ノ議ノ三ニ  
 此ノ(シ)下卷ニ云ヘシ今ハ且クムカシ顯昭法師ノイヒケン  
 ハ又ルカナノ字ナシノ言等ヲノミトカクニ執スラニ人ノ  
 爲ニ是クテハ云ニ頭昭ノ言ヲ解スルモヤテ、ニテ(シ)  
 (シ)ノ形ナシト云フ人多ハ思メレト岡本保考主ノ意ニ依テ

考ニ此ハ(シ)ノ扱ル正漢字ナシトニ云サレバ(シ)ハ何ノ  
 字ナド云論ハ姓措テ今正ク此(シ)ノ形字ノ現在セルニ就  
 テハ之ト(シ)トノ定カニ書別ルニ古書ニニ(シ)テ素ヨリ別  
 レ天然ノ音ナラ辨明スルヨキ便ニハ有ヘケレ焉ゾ之ノ  
 通用スヘシハ断スヘキ況ヤ男ハ(ナ)信ハ(シ)ト  
 様ニ書別ルノ已ニ舊キナナルヤ猶下卷(五)合考 彼轉用  
 例ヲ箸ス片かぬねのニ轉セルハ此字尾まみ  
 むめもニ用タルハ其字尾ト出シ証スル因ニナ  
 ドテ意ノツカザリケン惜哉 用格ニ或説ト指セルハ  
 和字大觀鈔ノナラン  
 大觀鈔ハ無相子ニ其同作磨光韻鏡字庫ニ諸ノ擽ル韻ノカ  
 ナ(シ)ヲ付ワケタル様即彼開合ニ扱リトニサテ此別ヲ  
 云ニ又一説アリ或問鈔字篇反ル書ニ總テ擽ル字ニ(シ)ノ  
 カナヲ用ルノ皆定アリ韻書ノ法ニ上平声下平声ト分ツ  
 アリ上平声ノ字ニハ(シ)ノカナニテノ子下平声ノ字ニハ(シ)  
 ノカナヲ用フニ反リコハ大觀鈔ノ説ニハ稍優ルニ似タレド

猶仙先ノ韻ノ字トハ韻ヲシトセル例証少ラ子ハ下平声ハ皆④之ハ通セス下凡此差ハ漢籍ニテ辨ントナラハ韻鏡ニテ先述ク云ハ彼十六撰ハヲ以諸字諸音ヲ統ル中臻山所撰ト深咸所撰トニテ其別ル所ヲ識ルヲ要トス今主トシ扱ルヲ焉ニ在リサテ正字通ニ滿語十二字頭トカイヘルコトノアル其四ニ韻因塞因ナトアルハ左如ト三ハテ夕路因慈因ハシゾトオボシキ等ヲ考ル韻尾④⑤別ハ彼邦モ降世紛シクナレルナメリ然ニ其④⑤紘シキ者ニ依テ有説ニ④音或用因今ハ上ノ論示ニ原キサテ字亦可取ルハ其意未審シ

ハ轉用例ニ从テ猶ツラ、考ルニ古書氏ニ彼撥ル韻ノ字氏ノ其韻ヲらりるれろニ轉用レルモ定有テ其ハかゝぬねのニ用ル字トハ相通シ生みむめもニ轉スル韻ノ字トハ通ゼズコノちゝぬねのト

らりるまろトヘハ④まみむめもヘハ⑤ヨリナルニ必然ノ理アリソハ下卷ニ至リ悉曇ノ義ヲ云處ニテ覺ルヘシ又後ニ音便トテ種々ニ轉レルガアル中ニハ又ル韻ノ字ヲ④イ韻ノ如クニ唱フルアリ冷泉ヲまひせイト云々グヒ

ナソレモ古ヘかゝぬねのニ轉用セシ字ニカキルトト思ハル思フニコレハ奈行ノ音ハ舌用多クカ、リ麻行ノ音ハ唇用多カルヲスヘテ先あ

いうえおノ五ニテワタルトキハ次オノ如クコノ五ツ喉舌唇舌末唇末トワカルレバサル舌音ノ故ニモアラム

按スルニ韻鏡ナル十六攝ノ標識ノ中韻鏡ハイト古キ書ニハ

アラ子トコノ書ニヨリテ考ヘモテユキツハ古音ニ遡ルニソノ正ラウル益アルト人多ク知ルカ如シ此義與ニ委ク云

ハ臻ト山トノ攝ナル字トモハ記紀万古事記日本書紀萬葉集

ラ云下  
三ナ同  
等ノ古書ニソノ韻ヲハ。かゝぬねのニ轉  
用セル例多クシテ。まみむめもニ轉シタルハ無  
ク。深ト咸トノ攝ナル字ハ。まみむめもニ轉シ  
テ。かゝぬねのニ轉セル例更ニ無シト三ユ。サテ  
臻山ノ所攝ナル字ハ。上ニ云ル如ク羅行  
ノ音ニモ用フ。然ノミナラス又ハ加行ノ濁音。或  
ハちノ音い。音ニモ轉スト三エ。深咸ノ所攝ノ  
字ハノ韻ハ。或ハ波行ノ濁音ニモ轉スト三ユ。是  
大カタノ差別ナル。但臻山ノ攝ナル字ハ。ま行ノ音ニ用  
タル乎ト覺シキガ古リニ。世ノ物ニモコレカレト見エ。後

マウ、オホカルヤウニモ思ハル。トソハ三ナヨク考  
ハ不審モナキ。トドモナルゾカシ。ソノヨシハ中卷ニクハ  
ク問答料簡。イトクダ、シケレド。酒司シミシハ  
スヘシ。今无



廿七 臻攝平凶信卷

廿三 山攝袁遠遠越

廿九 咸攝含領憾合

廿八 深攝金錦禁急

シ  
フ  
ナ  
ツ  
ム  
フ  
コ  
キ  
シ  
フ

如此ニナレル歎ト感フニ抑韻書ニ從ヒテソノ  
 入声ノ字音ヨリ辨テ其平上去ノ三声ナルハ丁音  
 凡ノ假名ヲ定ル傳ヘハ古ヨリノナレハ近ク  
 音假字用格ノ被ニ字音ノ假字ノ子ニ下カヒヤスセハ  
 クハ引ク音ニマリニ入声ノ字ナトニテモ分ルテ  
 へリコノシトノ差別ハ夕ソレト同シア  
 一ニテ右ノ嶽山所攝ハソノ入声ノ諸字ノ韻漢  
 也ソノヲノ韻一ハ三モノ平上去声ナルハ悉  
 クムソノ子ノ韻ノ文字トモノ平上去声ノ諸

字ハ皆也深攝ニテハ音歎陰邑成攝ニテハ鹽談黠葉  
攝ニテハ人怨非時山攝ニテハ蒸寢髮ノタ  
クハ皆違カクテ此ハニノ如クアサシクニヨブニ  
フナレハニハヤ、近クムハニノ如クアサシク  
ハヤ、遠キナリトゾイフベキハニノ如クアサシク  
非ルコトハ固ヨリニテ又麻美牟女毛ノ正キムノサ  
グカナルニモ非ルヘケレハニ似タルムナト云ヘシ  
 ノハ元來イ韻一テ開音ムハイ韻ニテ合音ナ  
 ルヲソノ音ノ開合ヨリ考ルニ開合トイフハ音  
 聲ノ三ニアラテ韻尾ニモ其別アルト云サレハ  
 コノムノケヂメハイウノ分ルニ同キ趣キ  
 ントシルヘシサテカク十六攝ノ所攝ニヨリテ



諸字ノ音ドモノ韻本來<sup>シム</sup>ノ別アルヲ辨ヘ  
 方キテ立還リテ御國ノ古書ドモノ漢字ヲ用ヘ  
 ルサマノイト正<sup>カ</sup>ハシキヲ詳ニスルニテハカ  
 めねのソノサシマギニハラリるれろノ音ニ借  
 リサテハ加行ノ濁音或ハ<sup>チ</sup>ニ轉ハシ或ハ<sup>イ</sup>ト  
 云フ音優ノ言葉ニモカヨハセル韻ノ字用ハ三  
 ナ臻山所攝ノ文字ドモ又まみむめもソレニ次  
 ギテ希ニハ波行ノ音ノ濁ルルドモニモ借り用  
 ルハ悉ク深咸所攝ノ音ドモ也如斯キハヤカニ

見エ分レタルヤウヨク味ヘバイヨ、奇シク妙  
 ナルワザナリ今ソノ明證ドモヲ舉テ云ヘシ先  
 畏<sup>カシ</sup>ケレト神ノ御名ニテ申サハ記ニ伊邪那美命  
 ト記サレタルヲ紀ニハ伊弉册<sup>ナ</sup>尊トカキ玉ヘリ  
 冊ノ字ノコトハ中卷ニ伊邪河宮ニ天下シロシ  
 云ハンヲ見テシルヘシ又記ニメシ、開化天皇ノ段  
 云々の大縣主ノコトヲ且<sup>ク</sup>波ト書カレ後ニハ丹波ト  
 ニ丹波道之ト又掛卷モイト恐ケレト師木水垣宮  
 カケルゴトキ又テ天下<sup>アマノシタ</sup>シロシメシ、崇神天皇ノ尊  
 ニテシ、ハ御間城入彦五十瓊<sup>ニ</sup>殖<sup>ニ</sup>天皇ト記シ

玉ヒ記ニハ御真木入日子印<sup>10</sup>惠命トカ、<sup>11</sup>同タ玉

天<sup>12</sup>下シロシメシ、垂仁天皇ノ御子ニテ、紀ニ五十瓊敷命ト

三エタル御名ヲ記ニハ<sup>13</sup>印<sup>14</sup>色<sup>15</sup>之入日子命「カ、ヒサテ三代

實録四ニハコノ御名伊<sup>16</sup>尔<sup>17</sup>サテ又輕嶋ノ明官ニ天<sup>18</sup>下

色神トアルヲモ考フヘシ、<sup>19</sup>應神天皇ノ尊號ヲ紀ニハ<sup>20</sup>譽<sup>21</sup>田天

皇ト記シ玉ヒ記ニハ品陀<sup>22</sup>天皇トカ、レタリ、斯

テ同記<sup>23</sup>應神天皇ノ<sup>24</sup>二<sup>25</sup>又本牟多能比能美古トモ書

レハ品ノ字ハ<sup>26</sup>譽<sup>27</sup>トカケルト同シキ「<sup>28</sup>要ニ濫

記<sup>29</sup>玉垣宮段ニ品<sup>30</sup>遲部トアルヲハ紀ニハ<sup>31</sup>譽<sup>32</sup>津部トアル

陀和氣<sup>33</sup>天皇ト申スハ紀ニテ<sup>34</sup>三<sup>35</sup>ルニモト上古ノ俗<sup>36</sup>鞆<sup>37</sup>ヲ号ケ

テ<sup>38</sup>褒武多トイヒツルソレニヨセテタ、ヘ奉<sup>39</sup>レル尊号ト聞

ユレハ音便ニカ<sup>40</sup>トキコユルヤウニ申ハアレク、アサシク

ハ<sup>41</sup>ト申ヘキニテサルカラニ<sup>42</sup>譽<sup>43</sup>田トハカケルニテ有メル

ヲソレラシモ、然カキ玉ヘリシ紀ヨリ前ニ出来ニタル記ニ

品陀トアルニテ品字ノ音ハ昔ハカノ舌ニ<sup>44</sup>觸<sup>45</sup>レ鼻ニカ、リ

テ<sup>46</sup>ホ<sup>47</sup>ン<sup>48</sup>ト呼<sup>49</sup>ヘル字<sup>50</sup>也トハ素ヨリ同シカラサリシ「<sup>51</sup>頭<sup>52</sup>ハミ

トモイト<sup>53</sup>箸<sup>54</sup>ケキ「<sup>55</sup>コレニ因<sup>56</sup>テ後ニタ、カ<sup>57</sup>ト聞ユルヤ

ウニナレル世ニテモ、今ヨリ七百年ノ古<sup>58</sup>テハ此字ニ音ノ

カナヲツクルトキ<sup>59</sup>ホ<sup>60</sup>ン<sup>61</sup>トハセズ<sup>62</sup>テ必<sup>63</sup>ホ<sup>64</sup>ム<sup>65</sup>トカケリシハ正

ハ<sup>66</sup>ン<sup>67</sup>シ<sup>68</sup>美<sup>69</sup>キ<sup>70</sup>ワ<sup>71</sup>ザ<sup>72</sup>トゾイフベキ、然ニ今世ハカ、ルケ<sup>73</sup>ヂ<sup>74</sup>メ<sup>75</sup>ノ

猥<sup>76</sup>リニナリニテ音博士トアル人サヘコ、ラ<sup>77</sup>辨<sup>78</sup>ヘスレテ近

発行ノ國史略ニ品字ニホントカナツケタル夕ニアヤシキ

ヲ又紀ニ從<sup>79</sup>テハ<sup>80</sup>譽<sup>81</sup>田トカキナカラソレニシモナホ<sup>82</sup>ン<sup>83</sup>ダ

ト片假名セルナトハ<sup>84</sup>ア<sup>85</sup>テ<sup>86</sup>リ<sup>87</sup>ナル<sup>88</sup>失<sup>89</sup>ニ<sup>90</sup>テ<sup>91</sup>凡<sup>92</sup>ソ<sup>93</sup>假<sup>94</sup>名<sup>95</sup>ヲツクル

ハ<sup>96</sup>愚<sup>97</sup>カ<sup>98</sup>ナル<sup>99</sup>モ<sup>100</sup>ノ<sup>101</sup>タ<sup>102</sup>メ<sup>103</sup>ナル<sup>104</sup>ヘ<sup>105</sup>キ<sup>106</sup>ニ<sup>107</sup>カ<sup>108</sup>ナ<sup>109</sup>ツ<sup>110</sup>ケ<sup>111</sup>ユ<sup>112</sup>ニ<sup>113</sup>カ<sup>114</sup>ヘ<sup>115</sup>リ

テ<sup>116</sup>人<sup>117</sup>ノ<sup>118</sup>惑<sup>119</sup>ヒ<sup>120</sup>ト<sup>121</sup>ナル<sup>122</sup>「<sup>123</sup>ナ<sup>124</sup>セル<sup>125</sup>ハ<sup>126</sup>ソ<sup>127</sup>モ<sup>128</sup>イ<sup>129</sup>カ<sup>130</sup>ナ<sup>131</sup>リ<sup>132</sup>ケ<sup>133</sup>ル<sup>134</sup>ゾ<sup>135</sup>ト<sup>136</sup>ア

ヤ<sup>137</sup>シ<sup>138</sup>テ<sup>139</sup>ル<sup>140</sup>バ<sup>141</sup>カ<sup>142</sup>リ<sup>143</sup>ニ<sup>144</sup>ナ<sup>145</sup>シ<sup>146</sup>但<sup>147</sup>シ<sup>148</sup>サ<sup>149</sup>バ<sup>150</sup>カ<sup>151</sup>リ<sup>152</sup>悞<sup>153</sup>テ<sup>154</sup>モ<sup>155</sup>耻<sup>156</sup>ラ<sup>157</sup>フ<sup>158</sup>氏<sup>159</sup>ナ<sup>160</sup>カ

メルハ、今世ハ某国ヲシルトハナシニ、守<sup>161</sup>氏<sup>162</sup>介<sup>163</sup>氏<sup>164</sup>名<sup>165</sup>ハ<sup>166</sup>負<sup>167</sup>ヘル

類ナレバナド、云ヒラキテヤ有ランソハ似タル「<sup>168</sup>ナ<sup>169</sup>カ<sup>170</sup>ラ<sup>171</sup>謂

レ又言ナシニハ實ハイトサテ又記明官ノニ高クタリ

目郎女ト三エ紀ニ滂來田皇女トアルこむくハ

地名ナメルエ其地名ヲ和名鈔ニハ河内國石川

郡紺口ト郷名ニ出セルヲ見ベク又カノ國ノ甘

南備龍泉ニ咸古祠トテアメル紺咸ノ字ト右ノ

滂トイフ言トヲ考ヘ滂ハ麻行四段ノ活語ナリ紀ニハ滂字ノミナラス浸ヲモコノ語

武藏國去秋水滂トアルナトこみこむこめト活ク

フホ神名帳ニ咸古神社ト三エ仁德紀二十

四年堀大溝於咸玖ト三ニタルヲモ思フヘシサ

テ景行紀丁四ニ日向襲津彦皇子是阿牟君之始祖

也トアル阿牟エ舊事紀ニハ奄智君トアル也サ

テ又欽明紀ニ茅滂海トアル九恭紀ニモ茅滂宮崇神紀ニハ茅滂ノ縣陶邑又

記玉垣宮段ニハ血沼池他田宮段ニ智奴王ト三エ万ニハ六

卷ニ千沼同ト夕七卷陳奴乃海九卷智奴壯士血沼壯陳努壯

士又統日本紀十五智努ノ離官ナトアリ正クハカナガキニ

八千載十一ニこひひぬちぬのまひらをあらなくトアリ

ちぬハ和泉國ノ地名ナルエ万十一ニ珍海濱姓氏録ニ珍縣主ト

邊小松トモ血沼之海之鹽干小松氏アリ

アルモコレサテ記ニ於能碁呂嶋トカレタルハ

ニカナヘリ

のニアツルニ紀ニハ礮字ヲ用ヒテ礮馭盧嶋ト

カ、セタテヘリ。又紀ニ王ノ字コキシトモコニ  
 キントモ訓メルコト往々ナルヲ。杜佑カ通典ト  
 イフモノニ和訓栞九ノ十二古事捷吉支トアリ。又紀  
 竟宴哥ニ惟宗朝臣のも此ふみよむ人々と。  
 〇やううらんをむねと終ともとのりやほトア  
 ルハ。得段楊爾ノ也。サテ万ニさくトイフコエ。  
 五卷ニハスナノヲ麻爾麻爾トカキ。四卷三十三  
 ナトニハマニニ萬萬トカキ又三卷一五四十五  
 敵マ馬トカキ。敵ハフニ三ノトコロニ出スカ如ク漢ヒン  
 敵マ馬トカキ。敵ハフニ三ノトコロニ出スカ如ク漢ヒン  
 敵マ馬トカキ。敵ハフニ三ノトコロニ出スカ如ク漢ヒン

万六卷ハハ見宿女乃浦者トモ。下夕三犬女乃浦能與部庭  
 トモアリ。コノ三犬女ヲ敵馬トカケルハ。ニ字トモ吳音ヲ用  
 タルナルニ。此字音ヲ誤リテ。彼十五玉もろみめをほ  
 七ノ歌ヲハ。と。女をほとせル方ヨキヤウニ思フノ位  
 コトニ。新拾遺ノ頃ハ。又十一五さ。つらふ又ふ。小  
 既ク誤レルニソ有ン。又十一五さ。つらふ又ふ。小  
 散サ煩相色者不出少文心中吾念名君。又同三吾不  
 念君。又同憎不有君。等亦あらた六又同四又十九七千重  
 〇ラ千遍又同温九ラ爾故余漢又九二國問へど  
 郡問跡郡ヲ邦ノ誤カトイフハ非ナリ。又濁音ノ字トノ  
 三思モ非ニ。漢音ハ清ナリ。但シ古シハ郡ノ字ニ  
 テ。今世コほりトノ三イフ限リヲモくとトモイヒ。又四十  
 シトキコユレハ。コハ正字ニカケルニモアラズ。又四十  
 志カるカみカラ知カ寒カ。但シコハ志るさむトモヨムメトナ  
 志カるカみカラ知カ寒カ。但シコハ志るさむトモヨムメトナ  
 志カるカみカラ知カ寒カ。但シコハ志るさむトモヨムメトナ



姫ノノノ様 通セル如キ又神名式ニ伊勢國壹志郡

敏太神社トミエ和名鈔ニ壹志郡民太三乃トア

ルモ敏民ハミのニ借用タル者ナルヲ今世ステ

ニ伊勢ニテ松坂ノ西美濃田村ナル神社ナルヘ

キニテ知ヘ古ハみぬと返リシヲ和名鈔ノ頃ハ既ク

神名式今ノ印本ニぬヲのト云フニナルヘシサテ此

ル敏馬乎過トシテラスキトヨメルニ似テソレヨリモ甚

キ謬リト又イフヘン又イフヘン又イフヘン又イフヘン又イフヘン

アル此波也斯テ此諸字ヲカノ韻鏡ニ照シ見レハ品

余今音ハ第卅八開轉ニ在テ深ノ攝之南冊甘淡

紺咸奄膽點念ハ皆第卅九開轉ニ在テ咸攝ノ字

也之サテ此ラノ字ハ上ニ辨セル如ク其韻ヲハ

まみむめもノ音ニ借テ用ヒ習ヘル字也也コノ主みむめ

もニ用ヘル△韻ノ字也ハ奈行ノ音ニ通スルハ決リテナ

キナリ奈行ノ音ノ外ニハイト希ニ波行ノ濁ルニハ通フ

義ハ下冊三ニ云ヘシ又印珍敏ハ第十七開轉ニアリ波

毛岷ニ通スルハ第十七轉ノ明母ニ屬ス礫ハ

第十九開轉君郡ハ二十合轉ニアリテ是皆臻攝

健ハ廿一開轉萬ハ廿二合轉且干漢散彈難遍ハ

廿三開轉段清ハタ、姓ニ濁ル半統ハ廿四合轉ニアリ

是皆山攝ニシテ此等ハ所謂カヌぬねのニ用ヒ

習へル字也コノカヌぬねのト轉スル尾声ハ既ニ

リニテ亦稀々加行ノ濁ル音ヘモ通スルナト三ナ上ニ圖セ

ルカ如クニサテ又上ニ挙タル字也ノ左傍ニ廿ニ廿三ナド

ト數ノ字也ラ小ヤカニ記セルハ韻鏡何レノ轉ニ在ニヤト

尋テホシカラシニ優リテナレトテノシワザニ譬ヘハ萬ノ

字ハ廿ニ合轉ニアルヲニテハ非ストシリ或ハ難ハ廿

三開轉ニ在リテカクテハ開轉合轉ニハ抱ラデノ韻ナ

ル字也ハ幾ラモアリトシル類ノ一ヲ要トスサレハ彼ノ

ノ差別ヲ四十三轉ノ開合ノ識シニテワカルヤウニ云ハ

ゲニ當ラヌ說ナルトハ宜長ノ序セル如ク之ト知ヘシ抑韻

鏡トトニ開轉合轉ト云ルハ音ニ付テノ一ニテ韻ニ付テノ

一ニハ非ルニサレド韻ニハ夕エテ開合ノ別ナシト云ニハ

アラス其趣キハ上ニ已ニイヘル如クハ開合ハ合ニ然ル

ニソノ開ノ韻ニテハ開合ノ一ニテハ開合ノ一ニテハ開合ノ一

モアレバ合轉所屬ノ一ニテハ開合ノ一ニテハ開合ノ一

ナトイヘル音ニ開合ノ字合轉ノ字也ニアサルハ韻

書ノ開合轉ハ唯其發声ノ音ニ依テ其尾声ノ韻ニハ関ラサ

レハ之コハノケテハ思ヒ混フルヲ勿レクダ、レケ

レド猶イハハ韻ハ開合ノ韻ハ合ナレト四十三轉ノ四ニ添

リテ開轉ナル字モハ韻合轉ナルハ韻一ハ定ラサルヲ

考ヘテ曉ムヘシサテツイテニ云ニ万十ノ四十四丁ニ秋山

乎謹人懸勿忘西夏黃葉乃所思君コノハテノ句カモユルキ三

トヨメル本ハ近人ノ論ムル如クゲニ不可ナラメドおもハ

其差別アルガ故ニヤカノ倭名抄ハヤ、降レル

奥中合考カク記紀万ノ古キ正キ書ドモノ記シ様

ノ例ニナルスルモアレハ此ノ辨ハ万葉哥字ニハ

ラス臻撰ニテクシナレハコハおもほゆるト訓ラズ優

レタリトハトルヘキくもト読ミテハ深威撰ナルクムノ字

ノ例ニナルスルモアレハ此ノ辨ハ万葉哥字ニハ

奥中合考カク記紀万ノ古キ正キ書ドモノ記シ様

世ノ記載ナレト。諸國並ニ郡郷ノ名ナドニ填テ  
 タル字ドモ古クヨリノヲサテ出セルナメルヲ  
 其記シ様種々ニテフトミレハモト定格ナキ  
 ト思ハレ又バカリナレト。此撥ル韻ノ字用  
 へルニソノ韻ヲあゝぬねのらりるれろニ轉シ  
 タル此ハ唯ト。まみむめもニ轉セルゴハ深咸ト。明ニ  
 分レタリ。序ニ云此ニ准ヘテ思ヘバ入声字ノ①韻ナルヲ  
 ト轉用セルナドモ同シ趣キナルヘシ合志雜實邑久トヤウ  
 益必色麻トウニ物ニルソノ例証也和名抄ニ多カル然ア  
 近クハ地名字音聲系例ニ類聚ルヲ見テ知ヘシ

レハ漢籍ニテヤ御國書ニテレ漢字ドモノアル  
 ガ中ニ撥ル韻ノ文字ニ附ル其カナモ。臻山攝ニ  
 テあゝぬねのナトニ轉ル方ノ韻ハ②まみむめ  
 もニ轉ル韻ニテ深咸攝ナル字也ノハ③ト書レ  
 クヘキ理リハ夕箸ニサテカウ思ヒ掟テタル上  
 ニ。又見及へハカク云ニ自ラ相似タル説ヲ云ル  
 人ホカニモアリケリ。執苑日涉トイフ書村瀬栲亭  
 二十云。七十五字之外。有ニ字。讀若分合口以是爲  
 鼻音。即ム統音之別。唯尾聲有此音。凡元文剛先等



收聲開口外鼻者爲<sub>レ</sub>。侵鹽覃凡等尾闕之音。聲將盡而闕之者爲<sub>レ</sub>。而<sub>レ</sub>ム、二音。不獨有開合之別而已<sub>レ</sub>。爲輕唇音<sub>ニ</sub>。爲鼻音。東冬江陽庚諸韻。唐音收聲同真元諸韻。國讀皆以ウ爲收。與蕭豪肴尤相似。蓋<sub>レ</sub>ム、二音ウ之轉聲耳。乃正喉音第三位。喉音觸唇而所生。ム亦唇音第三位ウ所生。輕唇爲<sub>レ</sub>。重唇爲<sub>レ</sub>。其外鼻爲<sub>レ</sub>。故無武等字。唐音ウ引<sub>レ</sub>國讀漢音<sub>ニ</sub>。吳音ム。一轉外鼻爲<sub>レ</sub>。音トイヘルハ。大觀鈔假字用格ナトニ優<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>ト懸カニ隔<sub>レ</sub>リ。

此書總テ

ハ音韻明<sub>レ</sub>ダリ<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>。已<sub>レ</sub>ニ五十音喉音三行。音ラダニ互ニ錯置セ<sub>レ</sub>バ。本カナ用<sub>レ</sub>等。用格者ニ掛<sub>レ</sub>テモ及<sub>レ</sub>所ナラ子ト。其ガ中乍<sub>レ</sub>サシモ<sub>レ</sub>。別<sub>レ</sub>ヲ云ルハ。却<sub>レ</sub>テ用格ニ勝<sub>レ</sub>ルハ。思<sub>レ</sub>ニ稟ル所有テ<sub>レ</sub>ニコ<sub>レ</sub>。俱<sub>レ</sub>シ<sub>レ</sub>ラ唇才三音<sub>レ</sub>。ハ<sub>レ</sub>。叫<sub>レ</sub>ウ<sub>レ</sub>。或<sub>レ</sub>ハ如<sub>レ</sub>國語助<sub>レ</sub>。合<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>。合<sub>レ</sub>宜<sub>レ</sub>。填<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>。蘭<sub>レ</sub>。甄<sub>レ</sub>。等<sub>レ</sub>。字<sub>レ</sub>。ト云<sub>レ</sub>ヘル等<sub>レ</sub>。ハ誤<sub>レ</sub>リニ<sub>レ</sub>。殊<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>。萬<sub>レ</sub>ノ借<sub>レ</sub>字<sub>レ</sub>ノ法<sub>レ</sub>。本卷十三<sub>レ</sub>。示<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>。ニ<sub>レ</sub>。反<sub>レ</sub>セル<sub>レ</sub>。失<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>。猶<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>。廿<sub>レ</sub>下<sub>レ</sub>。九<sub>レ</sub>合<sub>レ</sub>考<sub>レ</sub>。サ<sub>レ</sub>テ又<sub>レ</sub>。近<sub>レ</sub>。漢<sub>レ</sub>。吳<sub>レ</sub>。音<sub>レ</sub>。圖<sub>レ</sub>。說<sub>レ</sub>。音<sub>レ</sub>。圖<sub>レ</sub>。口<sub>レ</sub>。義<sub>レ</sub>。ナ<sub>レ</sub>。ト<sub>レ</sub>。イ<sub>レ</sub>。ヘル<sub>レ</sub>。書<sub>レ</sub>。ヲ<sub>レ</sub>。考<sub>レ</sub>。ヘ<sub>レ</sub>。三<sub>レ</sub>。ハ<sub>レ</sub>。ソ<sub>レ</sub>。レ<sub>レ</sub>。ニ<sub>レ</sub>。ハ<sub>レ</sub>。三<sub>レ</sub>。内<sub>レ</sub>ノ撥<sub>レ</sub>カナ古<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>。音<sub>レ</sub>。博<sub>レ</sub>。士<sub>レ</sub>。ア<sub>レ</sub>。リ<sub>レ</sub>。テ<sub>レ</sub>。正<sub>レ</sub>。シ<sub>レ</sub>。カ<sub>レ</sub>。リ<sub>レ</sub>。シ<sub>レ</sub>。ウ<sub>レ</sub>。中<sub>レ</sub>。古<sub>レ</sub>。已<sub>レ</sub>。來<sub>レ</sub>。乱<sub>レ</sub>。レ<sub>レ</sub>。タル<sub>レ</sub>。ウ<sub>レ</sub>。復<sub>レ</sub>。ス<sub>レ</sub>。云<sub>レ</sub>。云<sub>レ</sub>。ト<sub>レ</sub>。云<sub>レ</sub>。テ<sub>レ</sub>。辨<sub>レ</sub>。セ<sub>レ</sub>。ル<sub>レ</sub>。ト<sub>レ</sub>。凡<sub>レ</sub>。皆<sub>レ</sub>。大<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>。用<sub>レ</sub>。フ<sub>レ</sub>。ヘ<sub>レ</sub>。キ<sub>レ</sub>。也<sub>レ</sub>。統苑日涉假字用格等ノ亦<sub>レ</sub>。カ<sub>レ</sub>。ウ<sub>レ</sub>。ア<sub>レ</sub>。モ<sub>レ</sub>。及<sub>レ</sub>。フ<sub>レ</sub>。所<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>。非<sub>レ</sub>。ル<sub>レ</sub>。也<sub>レ</sub>。且<sub>レ</sub>。ソ<sub>レ</sub>ノ書<sub>レ</sub>ノ殊<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>。精<sub>レ</sub>シ<sub>レ</sub>ゲ<sub>レ</sub>ナル<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>。入<sub>レ</sub>。声<sub>レ</sub>。フ<sub>レ</sub>。所<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>。非<sub>レ</sub>。ル<sub>レ</sub>。也<sub>レ</sub>。

① 韻ハ漢吳トモニ  
 ② ナルヲカノ  
 ③ ツト  
 ④ キ  
 ⑤ クト

ハ各漢吳ニツ、ニ相分レタルニ例シテ、<sup>⑦</sup>韻ノ  
 平上去聲ハ漢吳トモ<sup>④</sup>ノ韻<sup>⑤</sup>子<sup>⑥</sup>ノ平上去聲ノ  
 韻ハ漢<sup>②</sup>又吳<sup>③</sup>ト別チ物セル等、入声<sup>⑧</sup>ノ其平上去  
 三声ハ<sup>①</sup>ト<sup>④</sup>ウ<sup>⑤</sup>トニ  
 別ル、モヨクソノケニ理リアリゲナレド、今ハ从ハ  
 例協フト先ニエテ  
 ズ、サルハ始、ニイヘル如ク、信心安聞ノ如キ、スベ  
 テ漢吳氏ニ<sup>⑧</sup>トセルト<sup>④</sup>トセルトノ差別ノ本  
 宗ノ典籍イト、嚴整ニ見エタルヲハ、サル故ヤア  
 ルト、其レ考ルナン詮ナレバゾカシ、音<sup>⑨</sup>ノ如クニ  
 ノミイヘバ<sup>⑩</sup>  
 ハ<sup>③</sup>又<sup>②</sup>ノミナラス、<sup>④</sup>何レモノ邊トテ、<sup>⑤</sup>ラハ本ノ理  
 リハイカニモアレ、イテ字音ニ假名ヲフラントスルニ付テ、

⑧ト④トノニラワクヘシトハイヒ得シヤウニモカツハナ  
 リナ、ハタ讚<sup>②</sup>又<sup>③</sup>丹<sup>④</sup>ヲ<sup>⑤</sup>タ<sup>⑥</sup>トハナホ<sup>⑦</sup>ラバナダラメ  
 タルニテ、ソレ直ニ漢音吳音也ト云ヘキニアラス、凡ソ  
 其義ハ奥ナル悉曇ニ付テノ議論ヲ考テモ知ヘキ也、  
 古書ドモニ讚<sup>②</sup>又<sup>③</sup>丹<sup>④</sup>ヲ<sup>⑤</sup>トヤウニセルハ、  
 ④ニ異リテ<sup>⑧</sup>トスヘキ韻ノ文字ノ限<sup>⑨</sup>ニ在<sup>⑩</sup>テ、カ  
 ノ信<sup>⑪</sup>ヲ<sup>⑫</sup>あ<sup>⑬</sup>り<sup>⑭</sup>訓<sup>⑮</sup>ヲ<sup>⑯</sup>く<sup>⑰</sup>る<sup>⑱</sup>トセルト同シサテノ轉用  
 ノ例トコソ思ハル、敵ハ漢<sup>⑲</sup>ヒ<sup>⑳</sup>吳<sup>㉑</sup>ニ<sup>㉒</sup>コ<sup>㉓</sup>レ<sup>㉔</sup>ハ<sup>㉕</sup>漢  
 吳ニテ<sup>㉖</sup>又<sup>㉗</sup>ラ<sup>㉘</sup>別<sup>㉙</sup>シ<sup>㉚</sup>ト<sup>㉛</sup>ノ<sup>㉜</sup>ミ<sup>㉝</sup>セ<sup>㉞</sup>ハ<sup>㉟</sup>漢  
 ニハスヘテまみむめもノ音ノナキライカニセシ敵馬ノみ  
 ぬナトハ、越ノ字ヲハ越後越前ナト云ラリニ音ハ漢ニテ韻  
 ハ吳カ<sup>㉠</sup>聞<sup>㉡</sup>ユル<sup>㉢</sup>如<sup>㉣</sup>キ<sup>㉤</sup>例<sup>㉥</sup>ハ  
 ハンカ<sup>㉦</sup>ソ<sup>㉧</sup>ハ<sup>㉨</sup>異<sup>㉩</sup>様<sup>㉪</sup>ナ<sup>㉫</sup>ラ<sup>㉬</sup>ス<sup>㉭</sup>ヤ<sup>㉮</sup>サ<sup>㉯</sup>テ<sup>㉰</sup>ト<sup>㉱</sup>ヨ<sup>㉲</sup>深<sup>㉳</sup>咸<sup>㉴</sup>所<sup>㉵</sup>攝<sup>㉶</sup>ノ<sup>㉷</sup>韻<sup>㉸</sup>ハ  
 ハ、<sup>㉹</sup>か<sup>㉺</sup>に<sup>㉻</sup>ぬ<sup>㉼</sup>ね<sup>㉽</sup>の<sup>㉾</sup>ナ<sup>㉿</sup>ド<sup>㊀</sup>ニ<sup>㊁</sup>ハ<sup>㊂</sup>受<sup>㊃</sup>ニ<sup>㊄</sup>通<sup>㊅</sup>ハ<sup>㊆</sup>テ<sup>㊇</sup>唯<sup>㊈</sup>ま<sup>㊉</sup>み<sup>㊊</sup>む<sup>㊋</sup>め

も二局リ。臻山所攝ノハ。かゝぬねのらりるれろ  
 ラム子トシ。兼テ希ニハ加ニ通フナルハ。ソモ何ナル  
 行ノ濁音アルハ。ち音ナド  
 故ソト考ルニ。古人ノ耳ニ異邦ノ人ノ真ノ口呼  
 ヲ聞ケン氏。撥ル韻ノ字氏ノ其音<sup>カム</sup>多クノ韻書<sup>時當</sup>  
 ハ未タ嘗テモ世ニミエザリシニテ。遠後ニ  
 見ハレシニテモ。古音ヲ考ルニソノ韻書<sup>氏</sup>ノ収ル所開轉  
 ナル文字ニ下レ合轉ナルニ下レ。何レモ鼻ニカ  
 カルソレヲハ。今一段細<sup>コ</sup>ヤカニキケバ。同シ鼻ニ  
 係レル中ニモ。本ヨリ音声ハ人心ノ情ウチニ動  
 テ外声ニ形ハル。其聲先喉ヨリ出ルガ初メナ

ルヲ。其出ル即ニ鼻ニカ、リツ、先舌ニ觸ル、  
 ト先唇、アタルトノ差<sup>ケ</sup>メアルソレハ自<sup>ク</sup>ラノ  
 ナルヲ。心留メ居テカラ<sup>サ</sup>轉<sup>ル</sup>リヲウチ聞ニ。其舌一  
 フル、ト唇ニ觸ル、トノ差別。サタカニ分<sup>ル</sup>シ  
 聞エシナルヘシ。サレハコソカノ臻ト山トノ撮ナル<sup>カ</sup>  
 ナリ。深咸ノ撮ナル字<sup>氏</sup>ノ入声ハ兩音トモ<sup>フ</sup>ノ韻トナレ  
 ニナハアレ。抑<sup>チ</sup>ハ舌音<sup>フ</sup>ハ唇音ナルハ固ヨリノ<sup>ナ</sup>ナル  
 ヲ。其入声<sup>フ</sup>ノ平上去三声ヲ鼻ニカケテヨハハ必其韻<sup>ニ</sup>  
 ナリ。其入声<sup>チ</sup>ナル音ノ平上去ノ字ノ韻ハ。必<sup>シ</sup>ト分ル  
 ヤウニナレルコト自然。サテ其鼻ニ關リ舌ニモ係ル  
 ノ理勢實ニ奇妙<sup>ト</sup>ヘシ。サテ其鼻ニ關リ舌ニモ係ル  
 韻ノ字氏ハ。後漸皇國言ニカリ用フルニ。其韻ヲ

ハカ<sub>二</sub>ぬねの<sub>一</sub>らりるれろ 兼テハ系ノ音ニ轉用  
又係ノセラレソノ唇ニ觸レテ鼻ニ係レルハ、まみむ  
又係めも 又係ニ轉用ノナリモテユケル者之サルハ  
モト五十音ノ中ニテ、まみむめもハ唇音ニシテ  
且ハ鼻ニカ、ル音、か<sub>二</sub>ぬねの<sub>一</sub>ハ舌音ニシテ  
夕鼻ニモカ、ル<sub>一</sub>淺ラサル音也。今試ニ二指ラ  
モテ鼻ツ<sub>一</sub>ミラリテ五十音ラハ一行ツ、呼ヒ  
ワクルニ、右ニイヘル理リ自然ノ聲音ヨクシラ  
ル。ソハ鼻ラツ<sub>一</sub>ム<sub>一</sub>イカニ緊クテモ、あいうえ

お<sub>一</sub>きくけこさ<sub>一</sub>志<sub>一</sub>以<sub>一</sub>せそ<sub>一</sub>ナドイヘル音氏ハ、其  
音聲聊モ尋ル所ナク、溷ル<sub>一</sub>ナク有<sub>一</sub>テ、ニ言  
ハル、ラ、か<sub>二</sub>ぬねの<sub>一</sub>まみむめもノ二行ハ鼻塞  
リテハ定<sub>一</sub>ニハ呼ハレス、其中まみむめもハ本來  
唇音ニテ、唇ラタ、カテハ出テ來<sub>一</sub>又音故、鼻ツ<sub>一</sub>  
メハ口鼻トモ閉ラレテ、其音ノ出難キハ固ヨリ  
ノ<sub>一</sub>ナルヘキニ、サル唇ニカ、ツラフ<sub>一</sub>ナキカ  
<sub>一</sub>ぬねのシモ、鼻ツ<sub>一</sub>ミ居テハイト、呼ヒ<sub>一</sub>回キ  
ハ、舌音ナカラ鼻ニ關レル<sub>一</sub>ノ深キ音ユエナル

へし。サレハなハ鼻ニ入故ニ。陀羅尼の中ニ鼻音  
 と註せる事あり。ト近ク正濫鈔十一ノニモ三エタ  
 リ。サテイカニ口ヲバ箱<sup>ツグ</sup>ミラリテモ。事モ無クイ  
 ツルハ<sup>シ</sup>也。サルハコハ本口語ノ正キ音ニハア  
 ラテ鼻音ナレバゾ。斯テ其<sup>シ</sup>ト出ル外ニハ。諸音  
 声ノ更ニ出ヌサテニ緊ク箱メル口ヲ開ク氏。唇  
 用カ、リテ先端カニイハル、ハ麻<sup>マ</sup>或女<sup>メ</sup>モト  
 波行ノ濁レル音<sup>ビ</sup>トナルヲソレニ次ギテハ加  
 行ノ濁音。カクテ鼻<sup>フ</sup>タゲレハ出ニクキモ。加行

ノ濁音ト奈行ノ音ト麻行ノ音ト也。サテ口モ鼻  
 モサテアリツ、呼ビ試ルニ。<sup>シ</sup>ハ舌<sup>ム</sup>ハ唇ニマ  
 タル<sup>レ</sup>已<sup>テ</sup>ニ箸<sup>シ</sup>カ、レバ撥ル韻ノ字<sup>ヒ</sup>ニ。今其  
 音ノ假名ヲ附ル氏。<sup>シ</sup>ト<sup>ム</sup>トノ別ナクハアルヘ  
 カ<sup>フ</sup>サル理リ復彌明<sup>シ</sup>。サテ彼カラ人ノ真ノ口  
 呼<sup>フ</sup>聞ケシニ。舌ニアタリツ、鼻ニ係レルハ。皇  
 國言ヲ寫ス氏<sup>カ</sup>。ぬねのノ音ニ用ヒ。唇ニフレ  
 ツ、鼻ニカ、レル韻ノ字<sup>ヒ</sup>ハ。まみむめもニツ  
 カ<sup>フ</sup>ト<sup>ト</sup>。オノツカラ分レニテ。韻鏡ナト云書ハ

名モ未夕聞エサリケン代ノ古書也。ステニ然書  
 キ別キテアルヲ。遙カナル後ニカノ邦ヨリテ井  
 來テ傳ハル韻鏡ニ照シヨレハ。カノ臻山ノ攝ハ  
 コノかゝぬねの。彼深咸ノ攝ハ此まみむめもト。  
 サル字ドモノ明カニワカレテアルハ。返々モ奇  
 妙ナル者ニテ。是ニ就テモ思ヘハ最欣バ敷ハ上  
 代人ノ口耳ヨ。韻書也ノ未參來サリケム世乍  
 ヤバカリ声韻ノ精ク別レタリケン。甚モ畏キ  
 也。 猶本卷三廿中卷五ニ云カノ支那秦牟屋文無字文  
 等ヲ按スレハ漢土ノ古亦其口耳ノ識別類似矣

サテ上來㊦㊧ノ別アル。文証モ理証モ既ニ明ニ  
 ト雖ヘ也。サラニ和名鈔ニ載レル國郡郷ノ名ド  
 モヲ擧テ。殊ニ蒙士ノ疑ヲ除ラシメン。 和名鈔ニ三  
 エタル地名  
 ノ文字ノ種々ナルハ。彼轉用例ニ云ルカ如ク。和銅中ヨリ好  
 字嘉名ヲ取テ必唯二字ニト定メ玉ヘル故也。此事弘仁ノ民  
 部省式ニ見ユ。延喜式ハソ 先彼上野ノ郷名をまゝか  
 レヲサテウツセルニコ  
 ニ填タル二字。男ハ那含反ニテ。韻鏡ニ驗スレハ  
 卅九轉。則チ咸ノ攝ニテ。舌音ノ平声清濁行第一  
 等ノ泥母ニ収テレル字也。圖面ニテハ南字ノ同  
 窠ナル字ニテ。假名ハ㊨ト付ヘキ音ノ字ナル

故ニ其韻ヲハ<sup>一</sup>ト轉用セル者也。但シ此定位ノ入

會ノ字ヲ考ヘ又此定位入声ノ納ノ同音ナル納字ノ音ノ

ヲハ和名鈔ニ納奴答反亦作納俗云能不トアルヲミレハ此

字ノ音<sup>ノム</sup>ナルヘク思ハルレトヨク按スレハソレハ却リ

テ轉音ニテ本音ハナホ<sup>ナム</sup>ナリサレハコソ俗云トハ云タ

ルナレ之ニヨルニ舍字ノ音<sup>コム</sup>ナルナドモ本轉音ニソ有

ムタバレ俗云トアルヲ必シモ俚俗ノトノミハコ、ロウ

下ジキナリ當時イヒナ是ハ<sup>あみ</sup>あむ<sup>あめ</sup>あも<sup>ナト</sup>

ラハセルヲ云ルニコソハ轉ジモ用フヘケレト<sup>あな</sup>あ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>

トヤウニハフ<sup>ニ</sup>轉ハサザルニ局リ定レル字

也又信ハ息音反ニテ韻鏡ニテハ臻攝タハ第十

七轉齒音去声清行第四等心母ニ収リテ假名ハ

①<sup>シ</sup>トツクヘキ字ナル故其韻ヲ<sup>ナ</sup>ト轉シタル

者ニテ此外ニ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>のナトスヘテ奈行ノ音ニ

借リタル例ハ多カレト此字ヲ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>トモ

あ<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>トヤウニモ用ヘル例ハ未タ之アラサ

ル文字ナルヅカシ此ニ<sup>ウ</sup>今廣ク考ヘワタスニ

其奈行ニ轉スル方ハ<sup>牛</sup>國名ニ<sup>信濃</sup>和名鈔ニ陸

奥ノ郡名<sup>信夫</sup>志乃和泉ノ郷名<sup>信太</sup>今之乃太トヨ

ノ註和名鈔ニ臣多トアリサレハ<sup>信</sup>上野郷名ニ男<sup>信</sup>奈

モ臣モ<sup>シ</sup>ラ<sup>シ</sup>トスルコト<sup>ミ</sup>ヘシ

之<sup>サ</sup>テ此信ノ如ク<sup>シ</sup>韻ナル字用ヘルヤウ

奈<sup>之</sup>サテ此信ノ如ク<sup>シ</sup>韻ナル字用ヘルヤウ

之<sup>サ</sup>テ此信ノ如ク<sup>シ</sup>韻ナル字用ヘルヤウ

先國名ニ因幡イハ以奈遠江ノ郡名ニ引佐イハ伊勢

ノ郷名ニ民太ミタ又和泉ノ信シノ註シテ和名

鈔ニ臣多シノ此信因引民臣ナトハ韻鏡

十七轉ニ在リテ皆臻攝ノ字也全齋云姚秦ノ片諸蕃

晋舌内ユエニ士奴ガ支那ニモナル後因テ西土ノ稱トナル

去カぬヲ信濃イカエヲ因幡トカケルナド皆同ト云ルケ

ニ照ルナナルヲ又大和ナル山名ニ雲飛ウツ万七ノ卅ニ

其秦モ十七轉ニ又大和ナル山名ニ雲飛ウツ丁ニ雲飛山

仁部印結ニ同國郷名ニ雲梯ウツ宇奈山城郡名ニ乙訓ウツ

和名鈔ニハ於止久トアリト此ハ本おそくト三外ニシガ

後ニおとくト訛リシヨリ終ニ身國トカクルナルヨリ記

紀凡ニ玉垣ノ段ニ見エタルガ上ニ今現ニおとくトヨベ

ル地名ニサテ訓ハくナルト右カナラ書ケハニ照シ見又

次ニイフ訓世養訓ノ類ヲ安藝郷名養訓和名鈔ノ現本

見合スレハイト明カナリ山城ノ郷名訓世ヲ註シテ郡勢ト

全ク写誤レル顛倒字ナルノミ也

カケルサルハ和名抄ニミエタルヲ此訓ノ字モ郡ノ字モ

背トミエタルサテ備後ノ郷名訓養也萬久爾トアリ

ニテ明カナリサテ備後ノ郷名訓養也萬久爾トアリ

ノ謬リ歎初メヨリ然リ乍ラ此若狹ノ郡名遠敷イハ

やまヲ先云ル所ニ填タル歎此若狹ノ郡名遠敷イハ

下夕國名ニ丹波ニ太余波トアリコノ國名ヲ記垂仁段ニ

波トカケレト希ニハ廿三廿四ナト但波凡カ又讚岐イハ

シタレハ旦但ノシナルトモ因ニ覺ルヘキ又讚岐イハ

岐トアリ序ニイハムさぬトモシヨリテヨムベシ反説

アレド統日本紀ニハ之ヲ借字ニ書テ紗按アレバ古モ猶

きモ心清ミテ呼シナルベシサテ此大和郷名ニ散吉伊



勢郡名ニ員辨倍為奈ナトアル此文字凡ノ中ニ雲

訓郡ハ韻鏡二十轉遠ハ二十二轉且但讚散ハ二

十三轉員ハ二十四轉ニアリテコレミナ臻山ノ

攝也斯ノ如ク臻山ノ攝ナル字凡ハカコぬね

のニ轉用セル例ハ地名ニ限ラズスベテ其例多

ル一ハ上ニ記紀万ヲ引テイヘル一ヲ始メトシ

テ今月ヲハコハコハハ今月ヲナタラメシモノケリハ

利トイフハ俗ノ訛外ナル張リノ義ヲモテセル名ナルニハ今捕ヲマシ

メタルヤカテ和名ト名ケテ匣ノ字ヲ舉タメタル錢ヲせニハ

和名

鈔一鑑録ノ註ニアリ又仲文集ニ於瀨ヲ錢ニカケタリ但シ

板本ニハセシトアレド古写本ニハ比ウ獄のウカフ一モ

一カ落レヒ多クウセ和名鈔ニ云四聲字苑云隱ヲお鬼居俚反於或說云隱字

頭形故呼隱也云紫苑ヲ志を和名鈔古今集紫檀ヲ

集伊勢雁緋ヲカヒ伊勢御集ニ沖なりトアリ

コノ二首一ハ拾遺和名鈔元蘭ヲラ拾遺和名鈔元牽牛子ヲケ眞集

遺ニモイデタリ眞集木欒子ヲむく和名宴ヲ元輔

拾遺古今紋亦元訓津保藏開卷ニハ字音ニテ

リ此外ト云フニ此字アテハ書ルハ近衛ヲあの

第國ヲ訓ナトノ例ステモ云ル也近衛ヲあの

薫衣香源氏蓬生クぬえ香トモ盆ヲ

卷ナトニイヒ

正中五。靖日記柳下之。庚申ラカウ元輔集ナトニ

二字ラウト云ルトモアレハハ語解ノコニヤト五

凡覺シケレト。尚申ラト云ルトシルキ處モアト

ルナド。又カクシ題ノ歌ニ備前筑前豐前ナトノ前ラセト

シケレト。猶古クテノ例ナルトハ。其字音ラナダラトメト

決ケレハ此等モ類例トスベシ。

ル類ヒラモ考ヘ合セテ。あトぬトぬトのニ轉用スル

ハ。都テ臻山ノ攝ナル字ト云トノ徒トシカラ

ザルホド察ラトテヨサテ古今集物名ニト云トみト

イヘルアリトレハ苦丹又ハ木丹ナリナド云ル

説ニ依レハ。爰ニイヘル趣ニヨク符ヘリ。苦膽ト

ト云ト説ハ物産家ノニテ。サハ合ヒト叵トシ。膽ハ咸ノ攝ニ

テタムニシテタシニ非レバト既夕ヨリ猶豫トヒ

シラ。近考ヘ得タリト覺ユルハ。先彼トちトめトれト也

のちトはあトとトみトトイヘル歌ハ。遍昭僧正ノナル

ラ。此僧正ハ慈覺大師ノ資。安然和尚ノ師ト之ト師ト慈覺

資安トモニ悉曇ニモ達セラレシナレハ。サハイ

ヘド漢土ノ音韻御國ノ自ラナル音韻トラモ。庸ナ

ラズ明メラレタルヘキラ。此僧正ハ夕其審詳ニ

セラレケンホド想像スヘシ。殊ニ世間ナメテ假

名ヅカヒノ大カタ巖整ナリシ當時ノ一ニケレ  
 ハ右ノ哥ノとと。ハ木丹ニシテ苦膽ニ非ル。一  
 卽チコノ韻ノカナヲ辨ヘテ曉ルヘキ也。從上ハ信ノ類ヒテ拳タ  
ル也。自下ハ復又サテ麻行ニ轉スル方ハ彼男子ノ  
野ノ屬ヲ出サン類上總國ニアメルいふ。トイヘル地名ノ一。記  
 ニ伊自牟トアル。紀ニハ伊甚トアリ。其處ヲ後  
 ニハ伊志美。コノ三字和名抄ニニ云ル郷名トセル。ソレ  
 一夷瀟ノ二字一定メラレタルヲ云フ。又  
 磨ノ郡名ニ印南。伊奈美同國ノ

志自牟紀ニハ縮見トアル処ナリ。サテ相摸テ夕上野ノ郷名伊參。伊  
 萬又カノ上野ノ男信出雲郷名惠曇。此ハ和名抄ニ  
 ドカノ國ノ風土記ニ惠伴ト信濃郡名安曇。和名印本安  
 アルニテ。トナルヲ知ヘシ。又アル人イハク筑前郷名ニ阿曇ト今ノ和名抄ニアルハ阿  
 曇ノ誤字ニテ阿出雲郷名南佐。コレモ和名抄ニタ、南  
 都三也ト云ヘリ。土記ニ滑狭トアレハ南ハ。同國又郷名玖潭。コレモ風  
 めニアテタルナル。美神龜三年改字玖潭トイヘリ。サレバ同夕郷名鹽冶。コレ  
 和名鈔ノ澤ノ字ハ誤リナル。明ケシ。モ風土記ニ之ヲ屋カケルニテ知ルヘク文字モ和名  
 鈔ニ塩沼トアル沼ハ冷ノ誤ナルコト風土記ニテ知ラル。同  
 郷名美談。和泉地名ノ淡輪村ノ一。紀ノ雄略卷三。田身輪  
 邑トアル田身モ淡ノ字ニ當レリ。又大内官城十

二門ノ中ニ談天門アリ。コハ阿波国ノ玉手氏所造故雅其音  
 曰談天門。コレ壬生氏所造ナルヲ以テハ美福門ト名ル例ニ  
 テ。玉ヲ談トカケルヲラハコレ亦談ハ（タム）ニ上野郡名甘  
 シテ（タシ）ニハ非ルニ由レルニトイフヘケン。美濃地名和（タム）。  
 樂加牟但馬郷名美含三久美濃地名和（タム）。天武紀ニ  
 ケルハ万二ノ三十四丁ニハ和射見我原。伊勢郡及郷名  
 十六和射美能十一亦和射見トアル處ニ。備後郡名又大和ノ郷名ニ  
 二奄藝郡ニハ阿武義郷ニ。河内ノ郷名紺口。コハ和名鈔  
 品治郡名ニハ保牟智郷ニ。ハ保無智ト註セリ。サテ隱岐郷名奄  
 注ハナケレト記ニ高目トカキ紀ニ。サテ隱岐郷名奄  
 可安無了ル是等三ツヘシ。又和名鈔ニハ三エ  
 子ト豊後直入郡ニ玖覃郷トイヘル了ル由カノ

國ノ風土記ニミエタルヲ其ハ紀ニ來田見邑ト  
 了ル處ト聞ユレハ此ハたみニ覃字ヲ填タルニ  
 斯クテ此甚瀟深ノ三字ハ韻鏡第三十八轉ニ在  
 テ深ノ攝ナリ。參男曇南覃潭奄紺咸ハ卅九轉ニ  
 アリ。甘監談斂ハ四十轉ニテ。凡ニ咸攝ノ字凡也  
 深咸ニノ攝ナル字凡ハ若クまみむめもニ轉用  
 セル例地名ニ限ラス總テ多カルトモ亦上ニ記  
 紀万ヲ引テイヘルヲ初トシテ。凡ホ印南野ヲ  
 いさみの拾遺花柑子ヲはあむ上龍膽上ヲテ

うたむ。古今拾遺ヲ初メ之ヲ物名ニセルヲ歌仙集等ニ多

シ。皆むナルヲ証スベキニテ。ナナルベキハ無シ。

灯心ヲさうし。和名三郎ヲさむらう。三衣匣フ

和名

さむ。和名汗衫ヲさむ。至心ヲさむ。

和名

トヤウニイヘル類ヲモ考ヘ渡シテ。深感ノ攝ナ

ル字ハ。まみむめもニ轉用スルゾトイヘルガ。

浮タル義ニハ非ルホドラ明ラムヘシ。但し右ニ奉

タル瞻

直チニソノ音ノテ、ナレハカク別ニ出スハ用ナキワキ。

モ云ヘケントスヘテ。ノ韻。今世ノ口語多クハ。シ。サダカニ

別リ難キニ。彼さむらうノ三ナトハ。タ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

ニ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

異ニト云。ヲハ知ラスルニ。思ヒ。マ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

一ニ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。

サテ此奈行ノ音ニ轉用スル字ノ分リハ羅行ノ

音ニモ轉スルゾト云ル証ヲ出サハ。先掛卷ニ

恐ケレト。孝元天皇ノ尊号ヲハ記ニハ大倭根子

國。玖琉命トカ、シ。紀ニハ大日本根子國。奉天皇

ト記シ玉ヘリ。奉ノ玖琉ニアテ玉ヘルハ。音ケガ

語音ニテ。クニ轉シ。韻ニガルニ用ハレタルナル

ヘシ。記傳二十一卷ニハ。奉ラハ。トヨムベキ義

ヨリ訓用ニテ。アテ玉ヘルナラシト釋ケレド。

イカバ。サテ又持統天皇ノ尊号。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。

アラシ。サテ又持統天皇ノ尊号。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。

めれ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。ウ。

サアラ

皇女トカハセタリサテ万葉七卷<sub>丁ハ</sub>ニ走井<sub>ハシラキ</sub>ヲハ

信井<sub>シノ</sub>ト記シ同十一卷<sub>丁十八</sub>ニ思<sub>シ</sub>ヲマ<sub>ヲ</sub>思<sub>ハカ</sub>篇<sub>ハカ</sub>來<sub>カ</sub>師<sub>シ</sub>

ト記シ<sub>但シ仙覺本ニハカモヒニケラシトアレド</sub>又昔

ステニ國名ノするガニ駿<sub>スサ</sub>河<sub>カ</sub>須<sub>ス</sub>流<sub>リ</sub>ノ二字ヲアテ

はりまニ播磨ノ二字ヲカケル<sub>ハコノ播ハ己既ク思シ</sub>

ハアラデコハ美<sub>ミ</sub>口<sub>ク</sub>作<sub>サカ</sub>ノ如<sub>ニ</sub>ナルヘシ其故ハ播<sub>ハ</sub>ニ北<sub>キ</sub>播<sub>ハ</sub>切<sub>キ</sub>ハシ

ノ音モナキニハ非<sub>ハ</sub>子<sub>シ</sub>トソハ物遠<sub>ト</sub>キ<sub>ニ</sub>本此字ハ補<sub>ハ</sub>過<sub>ハ</sub>切<sub>ハ</sub>ハシ

ウチ任セテノ音ト云ヘケレハ<sub>ハ</sub>ニト思<sub>ヒ</sub>シカト<sub>ハ</sub>レハ<sub>ハ</sub>幡<sub>ハ</sub>ト

書<sub>ハ</sub>下<sub>ハ</sub>モナキニ非<sub>ハ</sub>レハ<sub>ハ</sub>播<sub>ハ</sub>ハナホ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>ノ音<sub>ハ</sub>ヲトリ<sub>ハ</sub>其<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>リ<sub>ハ</sub>ニ

用<sub>ハ</sub>ヒタルナルヘシ遠<sub>ハ</sub>江<sub>ハ</sub>郷<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>幡<sub>ハ</sub>多<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>和<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>鈔<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>川<sub>ハ</sub>多<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>モ<sub>ハ</sub>註

セ<sub>ハ</sub>レハ<sub>ハ</sub>幡<sub>ハ</sub>字<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>古<sub>ハ</sub>ヘ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>用<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>三<sub>ハ</sub>ナ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>ス<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>モ<sub>ハ</sub>用<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>レ

ト<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>サ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>ソ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>同<sub>ハ</sub>ク<sub>ハ</sub>播<sub>ハ</sub>モ<sub>ハ</sub>國<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>カ<sub>ハ</sub>リ<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>填<sub>ハ</sub>タル<sub>ハ</sub>又

大和郡名ニ平郡<sub>倍久</sub>コレト同<sub>ト</sub>ニテ同<sub>ト</sub>大和又

筑前ノ郷名平郡倍久利<sub>ト</sub>アリ上野郡名ニ郡馬

留<sub>ハ</sub>河<sub>ハ</sub>内<sub>ハ</sub>郡<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>讚<sub>ハ</sub>良<sub>ハ</sub>佐<sub>ハ</sub>良<sub>ハ</sub>越<sub>ハ</sub>前<sub>ハ</sub>郡<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>敦<sub>ハ</sub>賀<sub>ハ</sub>都<sub>ハ</sub>留<sub>ハ</sub>

伊勢郷名ニ訓<sub>ハ</sub>霸<sub>ハ</sub>久<sub>ハ</sub>留<sub>ハ</sub>安<sub>ハ</sub>藝<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>郷<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>訓<sub>ハ</sub>覓<sub>ハ</sub>久<sub>ハ</sub>留<sub>ハ</sub>常<sub>ハ</sub>陸<sub>ハ</sub>

郷名ニ幡<sub>ハ</sub>麻<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>和<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>鈔<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>細<sub>ハ</sub>註<sub>ハ</sub>ナ<sub>ハ</sub>ケ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>幡<sub>ハ</sub>麻<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>常<sub>ハ</sub>陸<sub>ハ</sub>志

ケ<sub>ハ</sub>リ<sub>ハ</sub>サル<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>タ<sub>ハ</sub>バ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>フ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>訛<sub>ハ</sub>リ<sub>ハ</sub>來<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>ル<sub>ハ</sub>ナ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>ン<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>モ<sub>ハ</sub>カ<sub>ハ</sub>ツ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>思

ハ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>猶<sub>ハ</sub>ソ<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>友<sub>ハ</sub>サ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>ソ<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>け<sub>ハ</sub>ま<sub>ハ</sub>氏<sub>ハ</sub>あ<sub>ハ</sub>ま<sub>ハ</sub>氏<sub>ハ</sub>云<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>俗

誰<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>本<sub>ハ</sub>タ<sub>ハ</sub>バ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>ク<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>け<sub>ハ</sub>り<sub>ハ</sub>ま<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>イ<sub>ハ</sub>ヒ<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>ナル<sub>ハ</sub>ヘ<sub>ハ</sub>キ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>和<sub>ハ</sub>名<sub>ハ</sub>鈔<sub>ハ</sub>ニ

テ<sub>ハ</sub>知<sub>ハ</sub>ラル<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>此<sub>ハ</sub>外<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>モ<sub>ハ</sub>カ<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>辨<sub>ハ</sub>圓<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>云<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>修<sub>ハ</sub>驗<sub>ハ</sub>者<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>常<sub>ハ</sub>陸<sub>ハ</sub>國<sub>ハ</sub>上

官<sub>ハ</sub>村<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>人<sub>ハ</sub>ナ<sub>ハ</sub>メ<sub>ハ</sub>リ<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>カ<sub>ハ</sub>マ<sub>ハ</sub>の<sub>ハ</sub>き<sub>ハ</sub>み<sub>ハ</sub>辨<sub>ハ</sub>圓<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>云<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>ナ<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>モ<sub>ハ</sub>思

フ<sub>ハ</sub>ヘ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>コ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>播<sub>ハ</sub>幡<sub>ハ</sub>ノ<sub>ハ</sub>字<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>イ<sub>ハ</sub>ツ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>ラ<sub>ハ</sub>書<sub>ハ</sub>ケ<sub>ハ</sub>ル<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>古<sub>ハ</sub>ヘ<sub>ハ</sub>カ<sub>ハ</sub>リ<sub>ハ</sub>ま

ト<sub>ハ</sub>云<sub>ハ</sub>シ<sub>ハ</sub>故<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>サ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>世<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>さ<sub>ハ</sub>る<sub>ハ</sub>が<sub>ハ</sub>く<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>云<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>即<sub>ハ</sub>猿<sub>ハ</sub>樂<sub>ハ</sub>氏<sub>ハ</sub>書

モ<sub>ハ</sub>思<sub>ハ</sub>ハ<sub>ハ</sub>ル<sub>ハ</sub>レ<sub>ハ</sub>サ<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>世<sub>ハ</sub>ニ<sub>ハ</sub>さ<sub>ハ</sub>る<sub>ハ</sub>が<sub>ハ</sub>く<sub>ハ</sub>ト<sub>ハ</sub>云<sub>ハ</sub>テ<sub>ハ</sub>即<sub>ハ</sub>猿<sub>ハ</sub>樂<sub>ハ</sub>氏<sub>ハ</sub>書

ク其稱東鑑ニモアナル之ヲ中昔ノ物語書ナト  
 ニハさるがうトイヘルエ文字ニハ江次第ニ  
 散トカキナホ古クハ三代實錄七<sup>三</sup>ナドニ散<sup>カ</sup>樂<sup>サ</sup>  
 トアルヨリミレハ散ハさぬ<sup>カ</sup>氏<sup>カ</sup>さる<sup>カ</sup>氏<sup>カ</sup>轉スル由  
 有テノ<sup>カ</sup>也<sup>カ</sup>北陸道ノ<sup>カ</sup>崇神紀ニクルガノ<sup>カ</sup>三チ<sup>カ</sup>ト訓  
 ルハコレハ字音ニハアラ子ト奈行<sup>カ</sup>  
 ②ト羅行<sup>カ</sup>ノ通フ一ノ例<sup>カ</sup>云ヘシ是等ヲ見<sup>カ</sup>ヘシ中  
 ニモ敦賀ノ如<sup>カ</sup>ハ記ニ角<sup>カ</sup>鹿<sup>カ</sup>トアル處ナレハ其<sup>カ</sup>  
 ノ<sup>カ</sup>ト後ニ呼習ヘルニテコレ即ぬ<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>通フ  
 ナルエソレニ填タル敦ハ<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>ノ轉音<sup>カ</sup>ニテ

①ムニハ非ル<sup>カ</sup>知ヘシ又②韻ノ字ニカハハラ  
 テモ古ハつぬ<sup>カ</sup>ト云シ<sup>カ</sup>つろ<sup>カ</sup>ト云ヤウニナ  
 レルハモト奈行音ト羅行音トハ<sup>カ</sup>氏<sup>カ</sup>ニ舌音ニテ  
 通フ由アレハ丹波ノ郡名伊加留加<sup>カ</sup>何<sup>カ</sup>鹿<sup>カ</sup>トカ  
 ケルハ<sup>カ</sup>い<sup>カ</sup>ろ<sup>カ</sup>小<sup>カ</sup>ノ③<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>ニ通ハセルモノソ思  
 ハルハ<sup>カ</sup>斯<sup>カ</sup>テ信<sup>カ</sup>ハ韻鏡第十七轉ニアリ駿敦ハ  
 八轉群訓文分ハ二十轉ニ在テ臻攝篇ハ二十一  
 轉散ハ廿三轉ニアリテ山攝ナレハ何レモ彼<sup>カ</sup>  
 二ぬ<sup>カ</sup>の<sup>カ</sup>ニ轉用スル字<sup>カ</sup>也<sup>カ</sup>彼<sup>カ</sup>ま<sup>カ</sup>み<sup>カ</sup>む<sup>カ</sup>め<sup>カ</sup>も<sup>カ</sup>ニ轉

用スル字モハ、若ク<sup>カ</sup>らりる<sup>カ</sup>ニ轉用スル<sup>カ</sup>ト變  
 ニナシ。次ニ加行ノ濁音ニモ轉ストハ、近江ノ地  
 名ニ<sup>カ</sup>ガ<sup>カ</sup>ノ<sup>カ</sup>信樂ト書ル類猶有ゲ也。但此ハ亦  
ガハ字外  
 長説モ可也。下卷 能考ヘテホシ。本來ウ又ムハ三ノケチ  
メアル<sup>カ</sup>ニテ亦本互ニ  
 親キ故和音ニテハウト引トノ三覺エシル中ニ東冬江ノ韻  
 陽唐庚耕清蒸ノ韻ナルウハ豪戈宵尤侯ナトノ韻ノウト  
 ハカハリテニ親シカメルウ。其ウ<sup>カ</sup>ラバ<sup>カ</sup>多々ト吳ト轉セ  
 ル<sup>カ</sup>相<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>當<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>シ<sup>カ</sup>雙<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>ナ<sup>カ</sup>ク<sup>カ</sup>若<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>た<sup>カ</sup>ゴノ類モコレカレ  
 トアル<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>思<sup>カ</sup>フ<sup>カ</sup>ニハ<sup>カ</sup>加<sup>カ</sup>行<sup>カ</sup>ノ濁音ニ通フ緣由アル<sup>カ</sup>ト明シ此  
 例ニ違ヘル<sup>カ</sup>欽<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>三<sup>カ</sup>エ<sup>カ</sup>タル<sup>カ</sup>ハ高<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>カク<sup>カ</sup>ニセル<sup>カ</sup>ト万<sup>カ</sup>ニアレト  
 ソハ又高ノ字ノ郭ニ<sup>カ</sup>還<sup>カ</sup>セル<sup>カ</sup>方<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>リ<sup>カ</sup>ノ<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>テ<sup>カ</sup>別<sup>カ</sup>  
 ナリ。思<sup>カ</sup>淵<sup>カ</sup>ル<sup>カ</sup>ト勿<sup>カ</sup>レ<sup>カ</sup>コ<sup>カ</sup>ノ<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>區<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>全<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>審<sup>カ</sup>カ<sup>カ</sup>也 又次ニ<sup>カ</sup>ぢ  
 ナル<sup>カ</sup>モ<sup>カ</sup>シ<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>テ<sup>カ</sup>ム<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>非<sup>カ</sup>ル<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>和<sup>カ</sup>名<sup>カ</sup>鈔<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>國<sup>カ</sup>名<sup>カ</sup>

但馬ヲ太知<sup>カ</sup>万<sup>カ</sup>ト註シ。河内郷名丹比太知比トア  
 ルニテ知ヘシ。子ニアツルニシ<sup>カ</sup>ラ用ヒタル<sup>カ</sup>ニ其  
 シハ鼻ト舌トノ音ナレハニト變シ。ニハ舌音ニ  
 テ<sup>カ</sup>子<sup>カ</sup>モ又舌音ナレバ<sup>カ</sup>變<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>變<sup>カ</sup>シ<sup>カ</sup>テ<sup>カ</sup>シ<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>ヒ<sup>カ</sup>ス<sup>カ</sup>ル  
 ニヤアラン<sup>カ</sup>イ<sup>カ</sup>テ<sup>カ</sup>韻<sup>カ</sup>鏡<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>驗<sup>カ</sup>ス<sup>カ</sup>ル<sup>カ</sup>ニ。丹ノ字ノ入聲  
 ニハ但<sup>カ</sup>但ノ入聲ニ達ノ字ラハ<sup>カ</sup>初<sup>カ</sup>セル<sup>カ</sup>ソノ吳音  
 タ<sup>カ</sup>チ<sup>カ</sup>ナル<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>子<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>ト<sup>カ</sup>ハ<sup>カ</sup>舌<sup>カ</sup>ノ<sup>カ</sup>半<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>觸<sup>カ</sup>レ<sup>カ</sup>テ<sup>カ</sup>齶<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>彈  
 スルト。舌ノ末ニテ齶<sup>カ</sup>ラ<sup>カ</sup>彈<sup>カ</sup>ス<sup>カ</sup>ルトノ異ノ三ニテ  
 竝ニ舌内ノ音ユエ通スト<sup>カ</sup>三<sup>カ</sup>エ<sup>カ</sup>タ<sup>カ</sup>リ。但此<sup>カ</sup>チ<sup>カ</sup>トナ  
ル<sup>カ</sup>モ直<sup>カ</sup>ニ<sup>カ</sup>轉<sup>カ</sup>ヒ



ル一ハ非ラシク義アサテ又此ニハハニ通フト云ル  
 リ下卷未合セ考ヘシ  
 故ハ諸ノ音モノ世々經ルニ隨ヒ漸ニ音優ノ轉  
 用ト云ナルガ種々アルナカニ紫震殿ヲ志シイ  
 ン冷泉ヲ志イセイモトハ冷然ナリシラ火災ニヨリ  
 テ泉一改メテシ由天曆御記ニ  
 ミユトソ抑然ト泉トハ音韻同ラサレモ人ト云口呼ノ同  
 キヨリ通シテ用ルナメリ元輔集ニ古写本ニハ冷泉トカキ  
 タメル如ク正保板ノ本ニハ礼勢院トカケルラ  
 目シ物  
 音ナ  
 めいはい仁多ういい  
 山雲郡名和名ナト五  
 鈔ニ爾以多  
 ルフ按スルニ何レモ臻山所攝ノ字也也  
 震仁ハ十  
 七轉ニア  
 レハ臻撮也面ハ廿一轉泉ハ廿二轉然ハ廿三轉ニ在テコレ  
 ラハ山撮也何レモカニぬれ又らりるもニ轉スハキ韻

ノ字氏之但シ此ニノイト爲  
 ルハ義又異アルカテ未合考  
 サテ又漢字音ノイ韻ヲ轉  
 シテニトイヘルアリ鈴ラマン榎木ラマンき磬  
 ラマンノ如キコレ必ニテムニハアラジト思  
 ハル其故ハ和名鈔ニ榎子ラマン  
 鈔云即丁反  
 字亦作榎和  
 名禮ト註セルヲミルニイ韻ハ奈行音ニ轉スト  
 途之  
 シラルレハ也此中鈴磬榎ハ青ノ韻ニテ唐音ハ即シ韻  
 ナレバ素ヨリ其ニ從セタルニテ轉音ト  
 云テテモ無ルヘシモ云ヘキニ似タレト榎ハサニアラス唐  
 音トテモ韻ニハ非ルナレハ此イラニトセルハスヘテ皇  
 國ニテノ自ラナル音ニトイテ五ニヨシノアルヨリイ  
 ヲト轉シテ呼習ヘル者ト思ハル猶イハ遠江郡及郷ニ  
 碁原トカキ波以ハ良ト註セルナトヲ考ルニ碁ハけナル  
 ラマンハ六ヒはいハイヘルハニハイニ親シケレハ也サ

テ<sup>ウ</sup>ト轉スルハ<sup>シ</sup>⑤<sup>ム</sup>⑤兩ナカラナサテまみむめもニ轉  
 リソレラノ<sup>フ</sup>モ奥ニ料簡スヘシ  
 スル深咸攝ノ字ビノ韻ハ波行ノ濁音ニ用フ<sup>ガ</sup>フ  
 下レ、、アリサルハモト波麻ニ行ハ唇音ノ輕  
 ト重トナル<sup>ウ</sup>。波行モ濁ル片ハ是モ麻行音ノ如  
 久唇ニフル、<sup>フ</sup>重クナルニヨリテ御國言ノ上  
 ニテ互ニ通ヘルハ珍カラ又<sup>フ</sup>ニシアレハ字音  
 ニ付テモサル<sup>フ</sup>ワルニゾアラム其例ハ旅人ト  
 聞エシ<sup>キ</sup>卿ノ御名ヲ淡等<sup>タミ</sup>トカキ三<sup>サム</sup>郎<sup>ラウ</sup>ラさまらう  
 トヨブナドコレ也<sup>也</sup>  
此万五一ニ淡等トアルハ続紀ニ多  
 比斗トカケルヨリミレハ淡ラ多比

ニ填レナル<sup>フ</sup>箸<sup>シ</sup>等ハ斗ニアタレリコレヲハ等ハ<sup>シ</sup>とく  
 ノ下略ナレハ比斗ニアテタルモノ淡ハタバ多トイフ一音  
 ニアテタルナラムトイヘルハ不可ニコノ外ニ又土俗ニヨ  
 リテ<sup>シ</sup>霍<sup>シ</sup>乱<sup>ラ</sup>ス<sup>ク</sup>ら<sup>ビ</sup>或ハト云カ如キハ山根らんニテらび  
 ニハ非ル字ナルヲヤト不審スル初学モアラメドムゲノ俗  
 態ハ論外ノ<sup>フ</sup>ニテトカク通釈スルニモ及フ<sup>フ</sup>下レシキコトソ  
 コレニテ深咸攝ノ字ドモノ韻ハマ行音ニ轉シ  
 下レニハ亦波行音ノ濁レルニモ伝ヘル上ノ圖  
 説徒<sup>ムナシ</sup>設カラサル<sup>フ</sup>復又知ルヘシサテ又あ<sup>ラ</sup>ぬ  
 ねめらりるれろニ通ハスヘキ臻山所攝ノ字ハ  
 其字ドチ又まみむめもニ轉ハスヘキ深咸所攝  
 ノ字ハ亦其字ドチト用ヘル<sup>フ</sup>ノイトサダカニ

テ正<sup>兄</sup>ハレキ例記紀ノ二書ニステニ明也ソハ記  
 ニ允恭天皇ノ御時新羅ヨリ下井來ツル大使ノ  
 下ラハ金波鎮漢紀武ト記セルト紀ノ神功卷<sup>七</sup>  
 微叱已知波珍干岐下夕<sup>三</sup>十<sup>+</sup>微叱旱岐トミエタル  
 等トラ觀テ漢干旱イハユル臻山攝ノ<sup>カ</sup>ン<sup>ド</sup>チ  
<sup>ナ</sup>ホ紀ノ諸<sup>卷</sup>ニオホク通シテ深咸攝ノ<sup>カ</sup>ム<sup>ヘ</sup>ハサラニワタ  
 フサルヲ目ベキガウヘニ記傳卅九<sup>八</sup>所引ノ北  
 史ト東國通鑑トニテ波珍干ト波珍<sup>ト</sup>食<sup>ト</sup>サヘ通  
 用ストミユルハ音<sup>カ</sup>ト<sup>サ</sup>ト異ナリナガラ韻ハトモ

ニシユエ相通セルヲモ考フヘク波鎮ト波珍ト  
 ヲモ准ヘテ知ヘキ也珍鎮モ凡ニ<sup>チ</sup>ニ<sup>テ</sup><sup>チ</sup>ム  
 ニハ非ル也<sup>但シ此波珍ヲ波弥トカケルハ誤ナル由ナドハ記傳卅九ニテ明ムヘキナリサレ</sup>  
 ハ金ニハ<sup>コ</sup>ム<sup>ハ</sup>鎮<sup>チ</sup>珍<sup>ニ</sup>ハ<sup>カ</sup>ン<sup>ナル</sup>エ  
 コレヲ<sup>コ</sup>ム<sup>ハ</sup>チ<sup>ム</sup>カ<sup>キ</sup>ム<sup>ト</sup>押<sup>ナ</sup>ベ<sup>テ</sup>ム<sup>ノ</sup>カ<sup>ナ</sup>ツ  
 クルナドハモト鹿謬ト謂ヘシカニカクニ臻山  
 攝ノ字ハン<sup>深咸攝ナルハムト書別クルコトノ</sup>  
 判然タルコソタフトケレ但シコレニツキテ又  
 妨難トナルヘキニ似タル義ドモ亦ナキニシモ

アラス故ニ自下問答ヲ設ケテ更ニ具サニ料簡  
スヘシ

（Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page. Some characters are circled, including the number 二.)

